

臨床研究に関する情報公開について

西暦 2026 年 1 月 21 日 Ver. 2

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報をまとめることによって行います。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんおひとりずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

利用する情報からは、お名前、ご住所など、個人が特定できる情報は削除します。また、研究の成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際にも個人が特定できる情報は公表しません。

ご自身の診療情報を研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問合せなどがある場合には、以下の「問合せ先」へご照会ください。研究への不参加を申し出られた場合にも、なんら不利益を受けることはありません。

研究課題名：	膀胱全摘術、腎尿管全摘術、経尿道的膀胱腫瘍切除術が施行された患者の予後解析 (多施設後方視的観察研究)
実施診療科：	医療法人財団荻窪病院 泌尿器科
研究期間：	西暦 2019 年 7 月 10 日～西暦 2030 年 12 月 31 日
研究目的と意義：	尿路上皮癌診断・治療目的に膀胱全摘術、腎尿管全摘除術、経尿道的膀胱腫瘍切除術を施行した患者さんの術前画像所見、および患者背景、病理学所見、術後再発の有無を後方視的に観察し、統計学的に予後因子、再発予測因子を検討します。
研究内容：	●対象となる患者さん 1990 年 4 月から 2027 年 12 月の間に、膀胱全摘術、腎尿管全摘除術、経尿道的膀胱腫瘍切除術が施行された患者さん。 ●利用するカルテ情報 年齢、既往歴、薬剤内服歴、CT や MRI 等の画像所見、病理組織学的診断結果等 ●研究方法 カルテから情報を収集し、代表施設である慶應義塾大学病院でデータを集積します。
問合せ先：	【研究責任者】 医師名：松島 将史 医療法人財団荻窪病院 泌尿器科 住 所：〒167-0035 東京都杉並区今川 3-1-24 電 話：03-3399-1101 (代表) 【ご意見、苦情に関する相談窓口】(本研究に関する相談窓口) 窓 口：松島 将史 (医師) 電 話：03-3399-1101 (代表) 受付時間：月～金 8:30～17:00 (土・日・祝・祭日を除く)

医療法人財団荻窪病院病院長